

## 「協働による畜産環境改善・整備と地域づくり」事業



ぐんま環境・エネルギー推進会議 会長 前橋商工会議所会頭 曾我 孝之

安心・安全な畜産品を提供する畜産業の振興を図るため、赤城山南麓をモデル地区として畜産業の課題である「臭気」や「畜産排水」対策に、「分かりやすい」や「きめ細やかな」を基本として、行政、NPO法人、地域住民が協働して取り組む「協働による畜産環境改善・整備と地域づくり」事業が、平成23年9月2日、群馬県地域づくり協働モデル事業に採択され、11月から事業を開始しております。

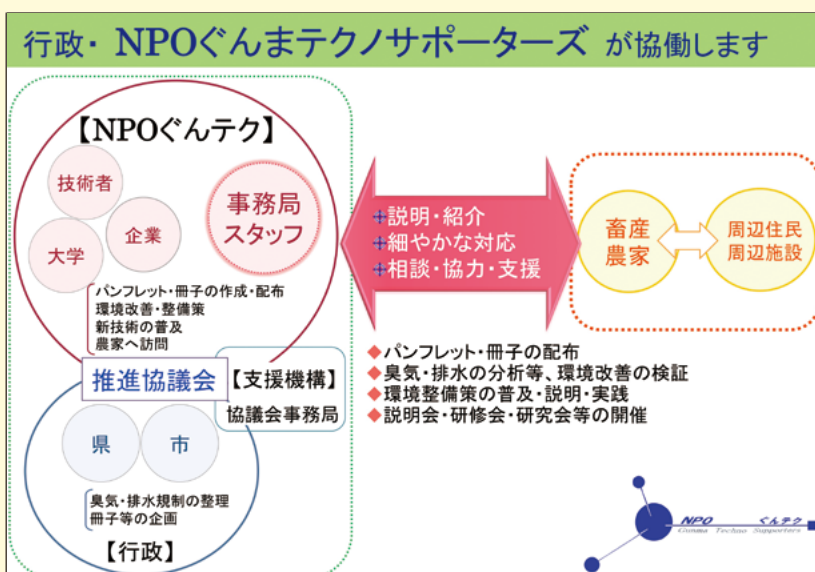
臭気対策や排水対策は畜産農家はもちろん、周辺住民や観光施設にとって喫緊に解決すべき課題で、これらの課題を解決するために群馬県地域結集型研究開発プログラムに取り組んで参りました。その結果、尿汚水高度処置装置や脱臭装置は商品化・実用化に至る成果を上げ、現在は畜産農家への普及段階に達しています。一方畜産農家は環境対策の必要性を感じていますが、厳しい経営環境や畜産環境改善に関する理解不足等により、まだ、その取組が十分に進んでいません。

本事業は、このような問題を解決するために、地域の産学官、NPO法人、地域住民が協働して畜産環境改善に取り組み、赤城山の観光振興に貢献し、地域づくりを推進しようとするものです。

具体的には、本事業の推進機関「ぐんま畜産環境改善推進協議会」の構成員であるNPO法人ぐんまテクノサポーターズと行政等が連携し、

- ①ガイドブックの作成  
畜産農家の役に立つ冊子を作成し、畜産環境改善・整備の実践につなげていく。
- ②環境改善運動の普及促進  
畜産現場や畜産農家の団体を訪問し、畜産環境改善対策の実践等にきめ細やかに対応する。

等の活動に取り組んで参ります。関係者の皆様には、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 第6回モノ作り連携大賞「中小企業部門賞」を受賞



ぐんま環境・エネルギー推進会議 副会長 群馬高専特命教授 小島 昭

群馬県地域結集型研究開発プログラムは、皆様方のご支援ご協力により、平成22年12月に技術移転・企業化を目指した研究開発を行うフェーズIIを無事終了いたしました。

本プログラムが実行されたことにより、多方面で優れた成果が誕生しました。これは産学官の連携が極めて円滑に機能したことによるものであります。企業化統括の曾我様、プロジェクトマネージャーの上石様をはじめとする多くの関係者のお力によるところが大きかったです。

これら諸々のことが評価されて、平成23年10月21日に「第6回モノづくり連携大賞 中小企業部門賞」（主催 日刊工業新聞社）を受賞しました。11月10日に東京ビックサイトで表彰式が行われ、皆様を代表して、賞状・トロフィー、賞金を頂いて参りました。

式では、多くの来賓の方々からお祝いの言葉をいただき、感激いたしました。これも研究者、関係者の皆様が、目的に向かって邁進したからこそ、なし得たことであり、改めて皆様に感謝申し上げます。

審査委員長の小宮山 宏様（三菱総合研究所 理事長）は講評の中で、「これからの日本は、第6次産業の時代である。特に、新しい1次産業が産学官の連携によって大きく飛躍することが、これからの日本にとって、大事なことである。」という話をされました。

まさに、皆様が取り組んで下さったプログラムは、小宮山様の言葉を先取りしたもので、今回の表彰は、群馬県の20近い機関が参加して農工商連携で、畜産環境の課題解決を目指した「畜産県、群馬県ならではの連携プロジェクト」が評価されたものでした。

現在は、研究開発成果の実用化・企業化を促進するフェーズIIIが進行中です。平成23年度の基本方針を「普及促進」、「事業化・企業化促進」、「研究発展」として、研究成果を商品という形にするための事業化の促進や、実用化に向けた研究開発の継続に精力的に取り組んでいます。

目標実現に向け、フェーズIIIを推進している研究員の皆様には、尚一層のご活躍を、関係者の皆様には、これまで通りのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



[表彰式]



[記念撮影]

## 群馬県が地域活性化総合特区に指定されました



群馬県企画課科学技術振興室 室長 上石 洋一

平成23年12月22日、群馬県「畜産バイオマスの高効率エネルギー利用、炭化・灰化利用による環境調和型畜産振興特区」が地域活性化総合特区に指定されました。その概要は次のとおりです。

### (1) 総合特区の区域設定

- ・前橋市の全域、桐生市新里町の区域（赤城山南麓の世界有数の畜産集中地域）
- ・高崎市矢中町の区域の一部（低温ガス化技術の実用化に取り組む開発企業の所在地）

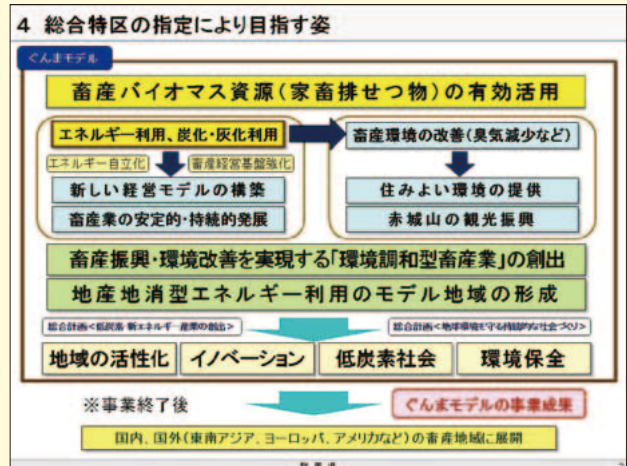
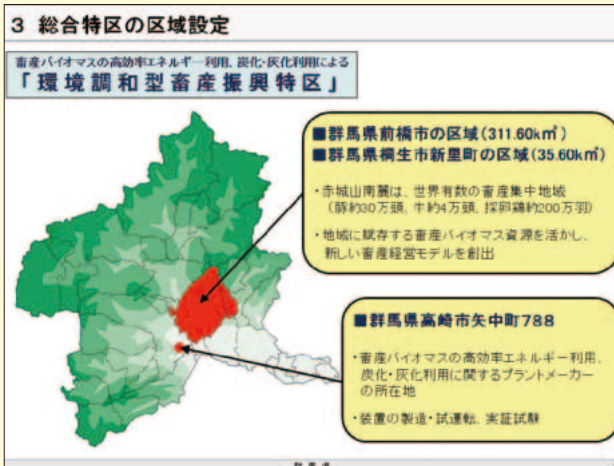
### (2) 目標及び政策課題

- ・区域内の畜産バイオマス（家畜糞）を有効活用して、エネルギー自立型畜産業を実現し、地域のエネルギーを地域で賄う地産地消型エネルギー社会のモデル地域を形成する。
- ・我が国の畜産業は安全・安心な畜産物を提供しているが、飼料価格の高騰など厳しい経営環境にある。エネルギー自立型畜産業とすることで畜産経営の基礎を固め、国内畜産業が持続的に発展する新しいビジネスモデルを構築する。

### (3) 目標を達成するために実施する事業内容

- ・低温ガス化装置の普及、低温炭化・灰化装置の普及
- ・スケジュール
  - 平成24年度：低温炭化・灰化実証装置の詳細設計・製造・運転開始  
低温ガス化実証装置の詳細設計
  - 平成25年度：低温ガス化実証装置の製造・運転開始
  - 平成26年度：畜産農家に導入しやすいシステムの構築
  - 平成27年度：低温ガス化装置、低温炭化・灰化装置の普及開始

以上のように、群馬県地域結集型研究開発プログラムで開発された世界最先端の低温ガス化技術の実用化を図ることで、エネルギー自立型の新しい畜産業を実現することを目指します。



## 会議・技術移転

### < 会議 >

#### ●第1回ぐんま環境・エネルギー推進会議

平成23年8月12日、群馬県公社総合ビルにおいて会議を開催し、会長・副会長の選出、群馬県地域結集型研究開発プログラム平成23年度事業計画に関する審議等を行いました。

#### ●第2回研究者会議

平成23年11月29日、群馬大学工学部において会議を開催し、平成23年度事業計画の進捗状況、平成24年1月24日開催予定の平成23年度成果報告会の企画についての検討等を行いました。

### < 展示会・セミナーへの出展 >

平成23年度普及促進事業として出展した展示会やセミナーは次のとおりです。

#### ●第7回群馬産学官連携推進会議

・平成23年5月30日、前橋商工会議所

#### ●平成23年度産学官連携推進会議

・平成23年9月21日～22日、東京国際フォーラム

#### ●エコテクノ2011

・平成23年10月12日～14日、西日本総合展示場（北九州市）

#### ●びわ湖環境ビジネスメッセ2011

・平成23年10月19日～21日、滋賀県立長浜ドーム

#### ●平成23年度第1回畜産コンサルタントセミナー

・平成23年11月25日、アットビジネスセンター東京駅八重洲通

#### ●アグリビジネス創出フェア2011

・平成23年11月30日～12月2日、幕張メッセ

#### ●エコプロダクツ2011

・平成23年12月15日～17日、東京ビックサイト

九州地方の畜産農家への普及を進めるため、本年度初めて九州地区の展示会エコテクノ2011に出展しました。また、顧客ニーズの把握や出展効果を高めるため、開発企業の研究者が出展者プレゼンテーションを実施しました。



びわ湖環境ビジネスメッセ  
「環境水・排水中のリンの除去」  
石井商事(株) 山田部長



アグリビジネス創出フェア  
「ファイバーボール脱臭装置の開発」  
(有)チー・エヌ・エス・テクノセルス 佐藤専務



エコプロダクツ  
「鶏糞低温熱処理炉の開発」  
(株)キンセイ産業 星野課長

財団法人 群馬県産業支援機構 販路・産学連携グループ

〒371-0854 前橋市大渡町 1-10-7 県公社総合ビル 2F ☎ 027-255-6601

FAX 027-255-6161 E-mail: g-create@g-inf.or.jp URL: <http://www.g-inf.or.jp/create/>